

- ・ 360° 全天球カメラの活用に伴う、アプリケーションソフトの活用
(360° 全天球カメラで撮影した映像を、天地補正映像に変換するために活用。)

・ 電子黒板の活用

○話し合い活動の充実

- ・ 作戦ボードと映像を活用した話し合いの工夫

(作戦ボードを活用して作戦を立てたり、チームの動きを話し合ったりしてゲームを行った後、その作戦や動きが実践できていたか、また、コート全体の使い方など、360° 全天球カメラの映像で確かめ、より効果的な動きを話し合う活動を取り入れた。)

- ・ めあてを達成するための話し合いになるように、話し合う内容を明確にする。

3. 成果と課題

- ・ 事後のアンケートでは、「サッカーが好き」と答えた児童は80%程度あった。事前の50%程度の値に比べて変化が見られた。「どこに動いたらいいかわかると楽しい。」「パスがたくさん回せたり、自分でもうまくパスができた。」など、友だちとかかわる中でサッカーの運動特性を理解して動いたり、技能の向上を感じたりすることができた児童が多くなった。
- ・ 360° 全天球カメラを活用したことによって、これまで気がつくことができなかったボールがあるエリア以外での自分たちの動きや、生かしていないコートの空いたスペースに気づき、よりよい動きを考える児童が増えた点において、ICT活用が効果的であったと考える。一方で、360° 全天球カメラなどの映像資料の活用では、その映像によって児童が本時のめあてに対する課題をもてるよう、映像を確認する視点を明確にしておくことが大切であると感じた。

【実践事例 その2】

第4学年「体ほぐしの運動」の実践を通して

日南町立日南小学校 永岡 康隆

1. はじめに

(1) 体ほぐし運動の特性

運動経験の有無が影響することなく誰もが楽しめる手軽な運動や律動的な運動を通して、運動の得手不得手を越えて、仲間と運動を楽しんだり協力して運動課題を達成したりしていくことができる運動である。また、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、自分や仲間の心や体の状態に気付き体の調子を整えたり、仲間と交流したりすることのできる運動であり、友達同士の関わりや協力の中で心と体がほぐれていくことを児童が実感できるようにさせていく必要がある。

(2) 児童の実態

児童数28名の本学級の児童は、休憩時間に体育館や中庭で体を動かす児童が非常に多く、本単元に入る事前アンケートでも「体育学習が好き」と答えた児童は全体の88%、「運動が好き」と答えた児童は92%であった。普段から児童の多くが走ることやボールを使った運動、鬼ごっこや縄跳びなどを行い、遊びの中で友だちと一緒に体を動かしている。「体ほぐし」の運動の種類を児童に聞いてみると「ストレッチやランニングやステップ走」などの意見が多かった。また、体ほぐしが心をほぐす役割になっていることについて、どの児童も自覚していない、または知らない状況であった。

2. 指導の工夫

【かわり合いながら心や体の変化への気付きを促すための工夫】

○体ほぐし運動のポイントを毎時間確認

→運動によってどのように心と体に変化したのかに意識を向けられるようにする。

○ペアやグループでの活動

→動きの楽しみ方を広げたり、仲間と豊かに交流できたりするようにする。

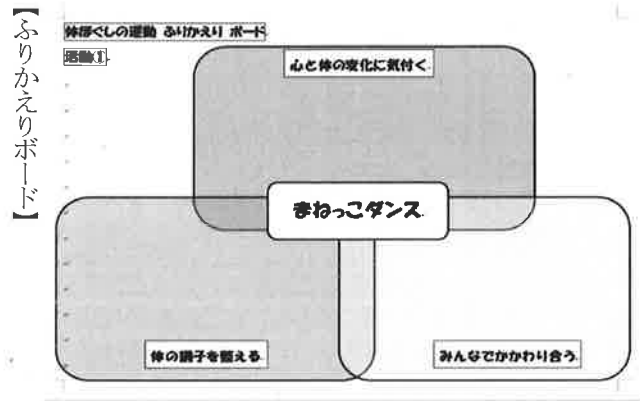
○活動中にふりかえる場の設定 (ふりかえりボード)

→活動ごとに振り返ることで、児童が心や体の変化に気づきやすくする。

○学習カードの工夫 (個人)

→学習前と後に気持ちや体の状態について気づくことができるようにする。

○教師の言葉かけ→心と体の変化を意識させるような言葉かけ、声の掛け合いを促すような言葉かけをおこなう。



【学習カード】

辞書くしの練習 しかけカード

月 日

名前 年 組

① よく読んでおくことで早くしるべし。よくしるべしは早くしるべし。

② 各科目の勉強のしるべしをきいて、(各科目の勉強のしるべしをきいて)のしるべしをきいて。

	国語	算数	理科	社会	英語	その他
① 国語の勉強	1	2	3	4	5	6
② 算数の勉強	1	2	3	4	5	6
③ 理科の勉強	1	2	3	4	5	6
④ 社会の勉強	1	2	3	4	5	6
⑤ 英語の勉強	1	2	3	4	5	6
⑥ 国語の勉強以外の勉強	1	2	3	4	5	6

③ ①と②の勉強のしるべしをきいて。

④ 国語、算数の勉強

⑤ 算数の勉強

⑥ 算数の勉強

⑦ 算数の勉強

⑧ 算数の勉強

⑨ 算数の勉強、英語の勉強

⑩ 算数の勉強、英語の勉強

⑪ 算数の勉強、英語の勉強

⑫ 算数の勉強、英語の勉強

④ ①と②の勉強のしるべしをきいて。

⑬ 算数の勉強、英語の勉強

⑭ 算数の勉強、英語の勉強

⑮ 算数の勉強、英語の勉強

⑯ 算数の勉強、英語の勉強

⑰ 算数の勉強、英語の勉強

⑱ 算数の勉強、英語の勉強

⑲ 算数の勉強、英語の勉強

⑳ 算数の勉強、英語の勉強

⑤ ①と②の勉強のしるべしをきいて。

㉑ 算数の勉強、英語の勉強

㉒ 算数の勉強、英語の勉強

㉓ 算数の勉強、英語の勉強

㉔ 算数の勉強、英語の勉強

㉕ 算数の勉強、英語の勉強

㉖ 算数の勉強、英語の勉強

㉗ 算数の勉強、英語の勉強

㉘ 算数の勉強、英語の勉強

⑥ ①と②の勉強のしるべしをきいて。

㉙ 算数の勉強、英語の勉強

㉚ 算数の勉強、英語の勉強

㉛ 算数の勉強、英語の勉強

㉜ 算数の勉強、英語の勉強

㉝ 算数の勉強、英語の勉強

㉞ 算数の勉強、英語の勉強

㉟ 算数の勉強、英語の勉強

㊱ 算数の勉強、英語の勉強

⑦ ①と②の勉強のしるべしをきいて。

㊲ 算数の勉強、英語の勉強

㊳ 算数の勉強、英語の勉強

㊴ 算数の勉強、英語の勉強

㊵ 算数の勉強、英語の勉強

㊶ 算数の勉強、英語の勉強

㊷ 算数の勉強、英語の勉強

㊸ 算数の勉強、英語の勉強

㊹ 算数の勉強、英語の勉強

⑧ ①と②の勉強のしるべしをきいて。

㊺ 算数の勉強、英語の勉強

㊻ 算数の勉強、英語の勉強

㊼ 算数の勉強、英語の勉強

㊽ 算数の勉強、英語の勉強

㊾ 算数の勉強、英語の勉強

㊿ 算数の勉強、英語の勉強

㊿ 算数の勉強、英語の勉強

㊿ 算数の勉強、英語の勉強

3. 成果と課題

学習後のアンケートでは「体育が好き」「運動が好き」と答えた児童はどちらも100%であった。運動に対して苦手意識がある児童が体ほぐしの運動では、手軽な運動を友達と関わり合いながら行なうことで、体を動かす楽しさや気持ちよさを感じることができたからだと考える。また、学習カードに学習前と後の体や心の調子について振り返る欄を設けたことで、児童が運動の有効性を感じやすかったと考える。また、ふりかえりボードを活用し、活動ごとに振り返りをしたことで、「心と体の変化への気付き」や「友達との関わり」について考え、運動の良さを実感できたと考える。多くの児童が体ほぐしの運動が体だけでなく心もほぐし、仲間と運動する楽しさを味わっていたことが見て取れた。

児童の感想より

体ほぐしの運動をして、心と体の変化、かかおりのこと
に、ほいみつけた。まね、このダンスは2人とかで
やるとはずかし。たけと組や全員でやると楽しくお
どることもできました。長久保は協力がふえて楽しくて
えがおがふえた。バーストレッチは「たいしょうぶ」とか聞いて
くれるとうれしくな、たし体が軽くな、たのしいなと
思う。

● 課題

- 活動ごとに振り返りを行うと時間が多くかかってしまい、グループで気付いたことを全体場で共有することが難しかった。→ふりかえりの仕方の改善
- 「心と体の変化への気付き」や「友達との関わり」についての記述は多かったが、「体の調子を整える」ことについての記述は、どの活動後も少なかった。
→児童に「体の変化」と「体の調整」についての区別を明確に伝える必要がある。
- それぞれの活動ごとに「気付き」「調整」「交流」の観点を絞って活動を行うと、児童がより明確な課題をもって活動できたと考ええる。